



先着順  
応募締切  
1.25 水

参加費各回 3,000 円

企業人のための環境セミナー 2022【体験研修第4回・第5回】

# 生物多様性・SDGs への取り組みに向けたリーダーシップ

～ 自分事化へ 自社化へ～

第4回 2023.1.26 木 13:00-16:00 会場：オンライン

第5回 2023.2.24 金 13:00-16:30 会場：経団連会館（大手町）

## 概要

今回の2回連続の体験研修の目的は、生物多様性・SDGsを”自分事化”し、”自社化”し「持続可能な企業経営に資する人」「多様な企業人とのネットワークをもてる人」という環境リーダーを育てることで。

企業において生物多様性やSDGsの取り組みを推進することは、変革を推進することです。トップマネジメントやチームメンバー、さらには社員のニーズを理解して共感を引き出し、新たな行動へと導いていくためには、リーダーシップの発揮が不可欠です。さらに、生物多様性条約第15回締結国会議の報告を受けます。

1月の体験研修では、生物多様性やSDGsの取り組みを社内でも推進する際に、周りの共感を引き出す方法論について学びます。2月の体験研修では、これまでに学んだことの集大成として、自分が推進したい生物多様性やSDGsに関する企画を、周りの共感を引き出すための工夫も盛り込みながら作成します。

## 内容

講師：早勢 弘一・佐藤正美（ワンアソシエイツ）、加藤拓（経団連自然保護協議会）

### 第4回 体験型オンラインセミナー

1. オリエンテーション
2. 生物多様性条約第15回締結国会議の報告
3. 変革を推進する力
4. 生物多様性やSDGsの取り組みを通して具現化したいビジョンを描く
5. 学びや気づきの共有・アンケート

### 第5回 ワークショップ（場所：経団連会館）

1. オリエンテーション
2. 企画の共有とフィードバック
3. 企画の見直し・修正
4. 企画の発表
5. まとめ

※ プログラム詳細とスケジュールは別紙をご覧ください。

## お申し込み

Peatix 申込み：<https://dwi-ecoseminar2022.peatix.com>  
(Peatix でのお申込みが不安な方はメール <[seminar@yamane-ikimono.org](mailto:seminar@yamane-ikimono.org)> にご相談ください)

対象チケット：○体験：第4回【2023年1月26日】○体験：第5回【2023年2月24日】  
料金：各回3,000円、定員25名、先着順

プログラム詳細：<https://www.yamane-ikimono.org/event/ecoseminar2022/>

※ お申し込みいただいた方には、開催1週間前までに、ご登録のメールアドレス宛に、詳細情報をお送りします。

当講座は「企業人のための環境セミナー 2022」の第4回および第5回体験講座です。○主催：一般社団法人ヤマネ・いきもの研究所 ○共催：一般社団法人生物多様性アカデミー ○協力：東京都市大学・夢キャンパス、経団連自然保護協議会、ワンアソシエイツ ○助成：公益信託経団連自然保護基金

お問い合わせ



一般社団法人 ヤマネ・いきもの研究所 (DWI) セミナー事務局

〒408-0015 山梨県北杜市高根町下黒澤 2014 番地 1 ◆ Phone：080-2959-5712

◆ Mail: [seminar@yamane-ikimono.org](mailto:seminar@yamane-ikimono.org) ◆ お問い合わせフォーム：<https://yamane-ikimono.org/inquiry/>

## 企業人のための環境セミナー2022

### 体験研修 第4回「生物多様性・SDGs への取り組みに向けたリーダーシップ①」

ワンアソシエイツ 早勢 弘一

#### ▼概要：

企業において生物多様性やSDGsの取り組みを推進するとは、変革を推進することです。トップマネジメントやチームメンバー、さらには社員のニーズを理解して共感を引き出し、新たな行動へと導いていくためにはリーダーシップの発揮が不可欠です。

1月の体験研修では、生物多様性やSDGsの取り組みを社内で推進する際に、周りの共感を引き出す方法論について学びます。

#### ▼目的：

生物多様性・SDGsを“自分事化”し、“自社化”し、「持続可能な企業経営に資する人」「多様な企業人とのネットワークをもてる人」という環境リーダーを育てる

#### ▼ゴール：

- 自社の環境への取り組みへの関心と、自社の生物多様性・SDGsに関するポテンシャルの把握（資質5および6）
  - 自社の環境、SDGsへの取り組みの必要性を明らかにする
  - 生物多様性、SDGsの取り組みを通して具現化したいビジョンを明らかにする
- 多様な企業人とのネットワーク構築への関心（資質7）
  - お互いのビジョンを知ることを通して、様々な企業の動向を理解する

#### ▼参加者：

- 継続参加者
- 単発参加者

▼実施方法：

Zoom ミーティングでの実施（ブレイクアウトセッションあり）

▼事前準備：

継続参加、単発参加のどちらも、自社で生物多様性や SDGs の取り組みを推進する個人的な思いについて、共有できるように思考してくる

▼日時：

令和5年1月26日（木） 13：00－16：00

▼内容

|             |  |
|-------------|--|
| 13:00-13:30 | オリエンテーション<br>● 目的、ゴール、グラドルールの共有<br>● 参加者自己紹介<br>▶ 事前準備の共有：環境に関する様々な問題に対する自らの関心事と、個人的な思いや経験<br>▶ このプログラムに参加した目的、得たい成果   |
| 13:30-15:00 | 変革を推進する力【講義】30分<br>● 環境の取り組みに対する社内の反応を振り返る<br>● 変革を推進するために必要な力とは<br>● 経営の潮流と今の時代に求められる物の見方<br>● コーポレートブランドという考え方<br>(休憩10分)<br>● COP15の報告 20分程度<br>● 自社における生物多様性や SDGs の取り組みの必要性を構築する【ワークショップ】30分<br>▶ 社内の関係者にとっての取り組みの必要性について考える<br>▶ スピーチを構築し、実践して他の参加者からフィードバックをもらう |
| 15:00-15:45 | 生物多様性や SDGs の取り組みを通して具現化したいビジョンを描く【ワークショップ】<br>● ビジョンを明らかにするステップ<br>● 取り組みを通して実現したいことは何か、その姿をイメージして、絵に描いてみる<br>● 描いたビジョンを共有する  |
| 15:45-16:00 | ここでの学びや気づきの共有<br>アンケート実施   |

体験研修 第5回「生物多様性・SDGs への取り組みに向けたリーダーシップ②」

ワンアソシエイツ 早勢 弘一

▼テーマ：

2月の体験研修ではこれまでに学んだことの集大成として、自分が推進したい生物多様性やSDGsに関する企画を、周りの共感を引き出すための工夫も盛り込みながら作成します。

▼目的：

「持続可能な企業経営に資する人」「多様な企業人とのネットワークをもてる人」という環境リーダーを育てる

▼ゴール：

- 自社の環境への取り組みへの関心と、自社の生物多様性・SDGsに関するポテンシャルの把握（資質5および6）
  - 生物多様性やSDGsに関する取り組みを通して具現化したいビジョンと照らし、社内や社外に向けた企画を作成する
- 多様な企業人とのネットワーク構築への関心（資質7）
  - お互いの企画を共有し、さらに良いものに進化させるために率直な感想やフィードバックを提供する
  - お互いの企画を知ることを通して、様々な企業の動向を理解する

▼参加者：

- 継続参加者
- 単発参加者（1月のオンライン講座と連続受講のみ可とする）

▼実施方法：

対面式

▼事前準備：

参加者は、生物多様性やSDGsに関する取り組み企画（または企画案）を作成して持参する

▼日時：

令和5年2月24日（金） 13：00－16：30

▼内容

|             |   |
|-------------|---|
| 13:00-13:10 | オリエンテーション<br>● 目的、ゴール、グラドルールの共有<br>● 今日の進め方の確認  |
| 13:10-14:10 | 企画の共有とフィードバック<br>● 作成した企画を講師や他の参加者に共有し、質問やフィードバックを受ける   |
| 14:10-14:50 | 企画の見直し・修正<br>● もらった質問やフィードバックをもとに、各自で再度プログラムを見直し、修正を加える<br>➢ 講師への質問や相談も受け付ける<br>(休憩10分)   |
| 14:50-15:20 | 企画の発表<br>● 参加企業の上司などの出席が可能であれば（あるいはウェビナー等でオンライン配信する）継続参加者については最終成果物の発表を行う   |
| 15:20-16:30 | まとめ<br>● これまでのプログラムの振り返り（写真や動画を使ったスライドショー投影）<br>● 湊先生、小堀先生、およびプログラム関係者からのメッセージ<br>➢ プログラム全体を通してのメッセージや、自社に戻ってから取り組みを推進することへのエールを送る<br>● アンケート実施 |

\* 参加人数が不明なため、現時点では時間配分は未定